

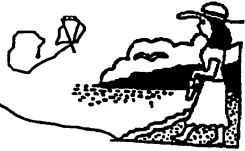
JUNE 1990

NEWSLETTER

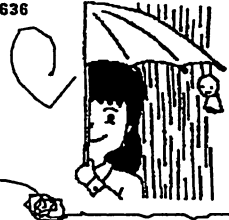
154 東京都世田谷区世田谷4-28-1 TEL.03(422)5341 (内線) 635/636

NO. 5

国士館大学・文学部地理学教室



《本号の内容》



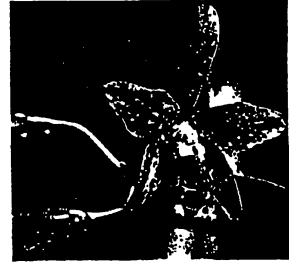
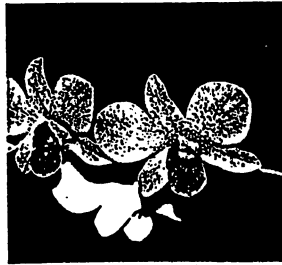
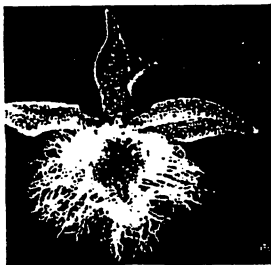
- | | |
|----------------------|--------------------------------|
| 1:地理学教室の新しい情報 | 2:教室をめぐる動き:1990年度人事 |
| 3:教員の研究活動 | 4:1989年度卒業論文主題一覧 |
| 5:1990年3月卒業生の就職先 | 6:1990年度講義・在室時間割 |
| 7:教室からお知らせ | 8:本年度開講地理学専攻専門科目・担当者 |
| 9:地理学科卒業生に対するアンケート調査 | 10:地理学教室が購入した図書・備品のリスト(1989年度) |

地理教室の新しい情報

大崎 晃

現在1~3年次生が履修している地理学専攻の新カリキュラムは、来年の1991年度に全学年が履修するはこびとなって、新カリキュラムへの移行が完成します。新カリキュラムの4年次では、新しく「環境アセスメント」「地図製作法」「民俗学」が登場します。新カリキュラムは情報処理科学の方向を目指し、全国の大学の地理学科の中でも最も現代的なカリキュラムですから、皆さんは大いに成果をあげてください。ただ、新しい情報処理科目の授業にあたっては特に実習・実験室等についての立ちおくれは、深刻な状態に達しており、経営側の配慮を切に希求するところです。

今年度の新しい話題に、気象観測衛星「ひまわり」の直接受信システムが教室に入りました。また来年度は、海洋観測衛星「ノア」の直接受信システムも入る予定です。そして、10号館地理学教室の廊下側の壁面をガラス張りにして、大型ディスプレイに日本を中心にした太平洋の雲の分布や海水温度の分布状態が、カラーで写し出される予定です。毎日、時々刻々と変化する地球の模様を眺められる楽しみを期待して下さい。☆



教室をめぐる動き：1990年度人事

<昇任>

太田 晃舜 先生 (助教授)

<退任>

横山 秀司 先生

柴田 英明 先生 (本属工学部の都合)

<新任>

水尾 藤久 先生 (非常勤講師、元建設大学校教官)

小川 英文 先生 (非常勤講師、本学教養部講師兼任)

清水 長正 先生



教員の研究活動

大崎 晃 教授

1989年 「大戦後における焼津鰹漁業経営体の変容と昭和漁業株式会社」。

国土館大学人文学会紀要 22号。

1990年 「静岡県焼津の鰹漁業における資金調達と資本形成過程 -ある経営事例についての考察-」。

法政大学教養部紀要社会科学編 75号。

1990年 (一部を分担執筆した) 石井素介編 『図説日本の地域構造』。古今書院の第5刷が出る。

感想：若い先生方のエネルギーとセンスにはかないません。研究室の窓際から燕の子育てを毎日眺めています。

長島弘道 教授

1989年 『益子町史第5巻窯業編第2篇』 (大崎先生と共著)、益子町史編さん委員会、益子町。

野口泰生助教授

1990年 「高温期・低温期が林業生産に与える影響：特に気象災害との関連について」

気候学気象学研究報告 (筑波大学地球科学系)、15、45-49。

1990年 『生活の中の環境問題』 (分担執筆)、粹出版社、125p。

太田晃舜助教授

1990年 『地域科学と政治世界』 古今書院 177p。

長谷川 均講師

1989年 「石垣島吉原のサンゴ礁海岸における砂質堆積物分布について」。沖縄地理、2号、1~12。

(山内秀夫・長谷川・長澤良太)。

1989年 「父島にみる北限のサンゴ礁」。地理、34巻11号、38~46。(渡久地健・長谷川)。

1989年 「分野を越えて始まったサンゴ礁研究と保全」。自然保護、NO.329,7-9。(長谷川・中井)。

1989年 「石垣島周辺サンゴ礁環境調査中間報告書」。世界自然保護基金日本委員会、15p。(目崎ほか)

1990年 「サンゴ礁の白い砂」。DIVER、NO.106,49-51。

1990年 「白保サンゴ礁流況調査の結果報告」。自然保護、NO.337,18~19。(目崎・長谷川・中井)。

1990年 「石垣島サンゴ礁の全ぼう明らかに」。野生生物、NO.6-7,1~9。(目崎・長谷川)に分担執筆。

1990年 「1990年白保サンゴ礁冬季調査 流況調査」。15p。日本自然保護協会。(目崎・長谷川・中井)

感想：何れも共同研究、共同調査の成果です。今年は単著でごりつとしたものをまとめたいと思います。

★ ☆

★ ☆

★ ☆

★ ☆

1989年度 卒業論文主題一覧

島田祥里
清水伸次
吉川広基
穂積広信
中山 修
平山雅央
菅谷好弘
阿諏訪一宏
佐野泰雄
石井一雄
牧野哲治
高橋 敦
石井 謙
遠藤真理
宮川春夫

大津晶子
三村光正
二沢泰征
並木勝子
大川香織
福原紀行
菅原 聡
佐川 敬
川上晶子
天下井徹
中野裕司
永尾康一郎
川畑盛一
江島賢一
村上伸一
福富 正
樋口布粧子
井上正彦
高橋洋一
川崎誠武
杉山晋太郎
本間仁義
田村哲哉
本田正文
日高幸人
松島こず江
鶴沢慎二郎
久保田和彦
信本亜紀子
坂内陽一
対馬昌彦

愛知県一宮市における毛織物業の経営構造と商品企画・アパレル分野への対応
埼玉県狭山茶産地における製茶工場の経営形態
静岡県富士市における大気汚染の季節変動
東京都足立区における農業の現状と農業経営の問題点
山形県庄内地方における大規模・小規模防風林の影響と利用
八王子市におけるネクタイ産業の生産構造
水田転作に対する市町村の対応 印旛地域の場合
神奈川県高座郡寒川町における都市近郊農業の変貌
千葉県市原市における臨海工業地帯の発展と今後の展望
横浜市における沿岸漁業の実態
オイルショック後の東濃磁器産地の変容 笠原町の現状をふまえて
神奈川県大磯丘陵東部における吉沢期の古植生
茨城県における高距集落の展開 茨城県久慈郡水府村上高倉安寺、時方集落
山形県鶴岡市における若年労働者の定着について
農村地域における民俗芸能の保存状態
岩手県遠野市と愛媛県東宇和郡野村町の鹿踊りの保存状態
愛知県名古屋市中区における大須商店街近代化活性の為の今後の課題
東京における戦前郊外住宅地の変容 宅地細分化と都市型住宅地化を視点に考察
ダム湖および周辺地域の観光レクリエーション開発 神奈川県三俣ダムの場合
扇状地の形態と堆積物の関係 甲府盆地を例として
山形県西川町における活性化への展開とその課題
穂高町におけるワサビ栽培地の特色
美濃和紙と和紙業界の変遷と現状
秋田県南部のりんご栽培について
千葉県野田市におけるショッピングセンター開発の現状
霞ヶ浦における養殖業の展開過程と現状
交通量と気温分布の関係について 埼玉県東部、国道16・17号沿線を例に
大正・昭和期における多摩川の災害と治水の変遷
与論島における観光立地の地域的展開
愛知県常滑市の陶磁器産業における急須の地理学的研究
埼玉県秩父盆地を中心とする関東平野西部での冬の気圧配置下の地上風系について
都市における緑地の低温域についての考察
千葉県安房郡和田町と白浜町における花卉栽培形態の違いについて
埼玉県入間市金子地区周辺における茶栽培用妨霜ファンの効果とその影響について
新潟市における中心商業地帯の変容 古町と万代町を中心に
神奈川県西部におけるミカン栽培
九十九里浜における海浜植物の分布と分布を決定している条件について
新潟県三条市における金属製品製造業の現況と課題
岩手県岩泉町における畜牛業の変容と今後の展望（主に日本短角種について）
愛知県岡崎市と茨城県真壁町の石製品工業についての地理学的比較研究
近年における博多人形生産業の推移
多摩地区における下水道問題 - 計画と財源 -
練馬区の防災に関する災害避難地の現況
手賀沼における水質汚濁及び下水道整備と家庭雑廃水の処理現状
世田谷区三軒茶屋における交通の現状と問題点
埼玉県における淡水魚の養殖
青森りんごの農業構造と生産・販売・流通の現状（中南農業地域から例にとつて）

野本賢二
郷田孝之
原田 勝
市川清士
縄田将之
釜淵昌弘
大欠 明
篠原秀一
吉永明美

地場産業における粘土瓦の地理学的研究 愛知県高浜市と埼玉県深谷市を例として
東京都の農業におけるキウイフルーツの栽培形態 一特に三鷹市を中心として一
浦安市におけるウォーターフロントの現状
中・南部琉球におけるサンゴ礁地形の比較
首都高速度道路の役割と東京における交通事情
気温の垂直分布に水塊が与える影響について 一箱根を例にとり調査一
若手県一戸町奥中山における酪農地域の形成要因と展望
栃木県における瓢箪生産の現状と展望
日本海側から太平洋側にかけての雪崩による侵食地形の分布
一飯豊山地南部周辺を中心とする一
倉田 昇 景観観光地域における観光特性及び観光産業の発達と実態について
山梨県北巨摩郡高根町北部（清里地域）を研究対象地として

合計56論文

なお、3月におこなわれた全国地理学科卒業論文発表大会では、高橋 敦さん（現在パリオ・サーベイに勤務）の「神奈川県大磯丘陵東部における吉沢期の古植生」が発表されました。

☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆

1990年3月卒業生の就職先

ここに示したデータは、学生から大学に報告された就職先です。業種、職種が特定できないものも多いので、1月現在の就職決定先の名称だけを掲載しました。

- | | | | |
|----------------|------------|-------------------------|--------------|
| ・オリエントコーポレーション | ・大成測量 | ・東都自動車 | ・公務員（東京都Ⅱ） |
| ・朝日住建 | ・京王観光 | ・千葉リコー | ・公務員（国公Ⅲ） |
| ・マルエツ | ・全日信販 | ・トヨタ-ム神奈川 | ・公務員（岩間町役場） |
| ・名鉄観光サービス | ・新西洋証券 | ・公共住宅協会 | ・ユニー |
| ・山形日本電気 | ・五洋電子工業 | ・東都自動車 | ・有隣堂 |
| ・ムラキ部品 | ・公立中学講師 | ・ミサワリゾート | ・横浜輸送 |
| ・エヌエレクトロニクス | ・新潟トヨタ自動車 | ・アジア航測 | ・ゼンリン |
| ・ゼンリン | ・公務員（小田原市） | ・インペルフアストシステム | ・セキチュー |
| ・大都漁類 | ・キャノンコピー販売 | ・明光商会 | ・高木証券 |
| ・笹野金属産業 | ・三共スポーツ | ・地産 | ・大新東 |
| ・トヨタ東京オート | ・フランセ | ・タカラスタンダード | ・太平洋エンジニアリング |
| | ・パリオサーベイ | （他の進路として、家事手伝い、大学院進学など） | |

☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆ ☆☆☆



1990年度 講義・在室時間割

Os: 大崎 Na: 長島 No: 野口 Ot: 太田 Ha: 長谷川 イニシャルは講義時間を示す
 : 鶴川校舎 — : 在室時間 (----- は、在室していることが多い)

	9:00-10:30	10:40-12:10	12:50-14:20	14:30-16:00	16:10-17:40
月	----- Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot ----- ----- No No No No No No No No No ----- Ha ----- Ha				
火	Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha ----- Na Na Na Na Na Na Na Na Na ----- Na ----- Na Na Na Na Na Na Na Na Na				
水	----- Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot ----- Ha ----- Ha ----- Os ----- Os				
木	Na Na Na Na Na Na Na Na Na Na ----- Na Na Na Na Na ----- Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha Ha ----- Ha Ha Ha Ha ----- Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot Ot ----- ----- No No No No No No No No No ----- ----- Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os -----				
金	No No No No No No No No No ----- No ----- Ha ----- Ha Os ----- Os ----- 12h30m~教室会議 13h30m~教授会 -----				
土	Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os Os -----				

- ・ 金曜日、会議のある場合は全員が出校しています(月1~2回)。
- ・ 上記時間以外の面会、相談などはAppointment によります。相談、質問などは教員の出勤中に済ませて下さい。教員の自宅、特に非常勤の先生宅への電話は極力ひかえて下さい。
- ・ 研究室の電話は、03(422)5341 (内線) 635:長島・太田/636:大崎・野口・長谷川です。

教室からのお知らせ

▲古今書院発行の「地理」誌、本年2月号の地理学教室案内(私立大学編⑦)に本教室が紹介されました。執筆には野口泰生助教授があたり、5ページにわたり本教室が詳細に紹介されています。図書館、研究室でぜひご覧ください。

★地理学教室では今年度から、「地理学教室のしおり」(B5版40頁)を作成し新入生に配布しました。
 ▼地理学教室では『国土舘大学地理学報告』(隔年)を発刊しました。第1号には次の2論文が掲載されています。

「Observation of Evaporation by Unconventional Methods in Hawaii: Small Cans and Piche Evaporimeters」

Yasuo Noguchi

「大戦後における焼津鯉漁業経営体の変容と昭和漁業株式会社」

大崎 晃

☆ ☆ ☆ ☆

本年度開講地理学専攻専門科目と担当者・開講日

(カリキュラム移行期間につき、旧カリキュラム科目も含まれている)

：鶴川校舎。

：今年度新たに開講したものです

学年	科目名	担当者	曜日時間	学年	科目名	担当者	曜日時間
1	人文地理概説	大崎 晃	木 5・6	3	外国地誌ヨーロッパ	清水長生	木 5
1	自然地理概説	野口泰生	木 5・6	3	外国地誌アフリカ	大崎 晃	土 1
1	計量地理入門	長谷川均	火 2	3	外国地誌アメリカ	野口泰生	金 1
2	地理実習	長谷川均	火 1	4	外国地誌途上地域	長島弘道	木 1
3	地 図 学	瀬戸玲子	金 5	4	外国地誌環太平洋	小倉 眞	金 2
3	資源管理論	長島弘道	火 4	3/4	課題研究	大崎 晃	土 4・2
3	文化人類学研究	小川英文	火 3	3/4	課題研究	長島弘道	火 2・5
3	文献研究	清水長生	木 4	3/4	課題研究	野口泰生	月 3・5
4	地理学演習Ⅱ	小倉 眞	金 1	3/4	課題研究	太田晃舜	火 4・5
2	地形学	長谷川均	火 3	3/4	課題研究	長谷川均	木 5・2
3	第四紀学	田淵 洋	木 1	1-3	地理巡検	大崎 晃	集中講義
3	気 候 学	野口泰生	金 2	1-3	地理巡検	長島弘道	集中講義
3	生物地理学	清水長生	木 3	1-3	地理巡検	野口泰生	集中講義
3	集落地理	長島弘道	火 4	1-3	地理巡検	太田晃舜	集中講義
3	歴史地理学	大崎 晃	土 3	1-3	地理巡検	長谷川均	集中講義
3	経済地理学	上野和彦	土 2	3	測 量 学	瀬戸玲子	金 4
4	政治地理学	長島弘道	木 2	4	測量実習	水尾藤久	金 3-4
4	地域開発論	上野和彦	土 1	3	情報学概論	小 亀 淳	火 5
4	リモートセンシング	長谷川均	木 3	2	ブロードベニングA	小 亀 淳・山田 眞	
1	日本地誌	太田晃舜	木 3	2	ブロードベニングA	矢島 司・石川博明	
2	首都圏地誌	福島義和	月 2	2	ブロードベニングB	小 亀 淳・山田 眞	
2	外国地誌アジア	福島義和	月 3	2	ブロードベニングB	矢島 司・石川博明	

1990年度地理学科学学生数 合計303人 (1年77 2年83 3年72 4年71人)

☆☆

☆☆

☆☆

☆☆

地理学科卒業生に対するアンケート調査

(1990年3月卒論公開口頭試験後に実施)

1. 卒論を書き終えて最も印象に残ること、要望、その他(たとえば、卒論の手引の使い方、論題の決め方、指導の仕方、等)について書いてください。

a~c は、同一人による回答です。

- a 体力にモノをいわせられた調査旅行のハードスケジュールが印象に残る
- b 個性のある論文が書ける環境を作ってほしい
- a 調査方法を参考にできる文献を見つけることが大変だった。国会図書館にどれだけ通ったことか!
- b 卒論は結局自分が一生懸命にやろうとする気持ちがないとだめ
- c 「卒論の手引」は「道しるべ」みたいなものである
- a 2年の時から(1年からでも)ゼミをやってほしい
- b 沖縄は遠かったお金がかかった

- c 先生の指導がすごく良かった（現地まで来て指導して下さった）
- a 学費の元がとれるくらい先生から細かい指導を受けられて本当によかったと思います（これがなかったら卒論が書けなかったと思います）
- b 「卒論の手引」では、付録 - 参考文献 の順になっていますが、逆の方が良いような気がします。どうでしょう
 - a しっかりとした目的を持って、その目的にあった論題を決めるようにすることが大切だ
 - b 聞き取り調査などでいろいろな話を聞くことが出来た
 - a 家族の協力、大崎先生の御指導がなかったら書けなかった。心から感謝しています
 - b 下調べが足りなかった。教育実習、就職活動と忙しかったので実質的には秋に入ってから取り組んだ。もっと時間がほしかった。
 - c 自分が悪いのだが、もっと先生とコンタクトをとれば良かった。
 - a 聞き取り調査にもっと時間をかけたかった
 - b 就職活動の前に終わらせた方がよい
 - a 卒論をやっている途中で何をやっているかわからなくなってしまう
 - b 一番最初にやることをきめておくことが大切である
 - c 途中であれもこれもと進めていくと、途中で何をやっているのかわからなくなってしまう
 - a 卒論を書く終えて印象に残ることは、やはり農村地域の人情の温かさである。それとともに、調査地域をみる目が変わったようにおもえる
 - b 指導について、長島先生の的確な指導ありがとうございました
 - c 卒論審査を終え、やっと肩の荷がおりました
 - a もっと早くから取り組めば良かったと思う
 - b フィールドを選ぶまでが大変だった
 - a 「卒論の手引」を参考にしなかったため、卒論がボロボロの悪い出来になってしまった
 - a ゼミの開始時期を2年次からにしてほしい
 - a 調査するために基礎資料を全部買ったため金がかかった
 - b 「卒論の手引」は、迷ったときに役立った
 - c 指導教授が良く指導してくれた
 - a 卒論のテーマを決めてから、提出まであまりにも期間がありすぎるので、もうすこし集中して行った方がよい
 - a 卒論は早めに意識しておかなければならないと思った。特に自然地理の学生は、3年の春休みに調査を行わなければならない場合があるので、早めに計画を練る必要がある
 - a 思っていたほど文章がまとまらなかった
 - b 用意するのが遅く、資料、アンケートがまとまらなかった
 - a 人数が多すぎた
 - b 指導をもっと多くしてほしかった
 - a 卒論は、なんといっても学生次第である
 - a 指導の際に、文章も読んでほしかった
 - b 調査地域が広すぎた
 - c 徹夜が一日だけで済み良かった
 - a 手引は有効に活用した
 - b 論題の決め方は苦勞した
 - a 学校には図書が少ないのでとにかく国会図書館に行く
 - b 早め早めの行動、行動的！
 - c 「手引は」むずかしすぎる
 - a 商業地理だったので、店内をうろろしすぎ、変な奴だと思われた
 - c 調査を自転車でやったため、足が太くなった
 - a 問題点をどのように明確にしてゆくのが難しく、論文のあり方を理解しにくかった
 - b 地理学とは何か、論文を地理的にまとめるというのが難しかった
 - a 提出まぎわにどたばたしたと思っています。おおまかな計画でも、キチンと計画通り進めれば良かった。

- b 卒論の手引はかなり参考になりました
- a ゼミは2年次より開始したほうが良い
- a 地道に行くことがすべてです。壁に当たったら逃げずに壁に穴を開けてください
- a もっと早くから取り掛かれればよかったと思う
- a 3年のはじめから卒論対策を始めてもいいと思う（例えば最初の半年間はゼミを移動していいとか自由期間を設ける）
- b 反省だらけ！！ 大迷惑を先生におかけしました
- a 卒論の指導期間の延長
- b 卒論の指導時間の延長
- a もっとしっかり調査すればよかった。それを、もっとよく勉強すれば良かった
- b 先生が、いつもとはいわないが、研究室に多く出て来てもらえるとうれしかった

2. 地理学教室への要望があったら書いてください。

- a もっと広く（民俗地理その他）の講義を増やしてほしい
- b 海外調査もしてほしい
- a せつかく東京都内にある大学なのだから「東京」に関する調査、研究を積極的に行うべきだ
- a 広い実験室がほしい
- b パソコンをもっとおいてください
- c 船と漁艇がほしい
- a コンピュータの台数を増やした方がよいと思う
- a コンピュータの台数はちょうど良いとおもう。自分はこれから覚えたいとおもう
- a 早い時期から卒論にとりかかれればよかったと思う
- b 口頭試験の予行と準備をすべきであったと反省
- a 特になし
- a 巡検をみんなで選べるような時間を提供してほしい
- a 学生全員が国士舘大学地理学会会員なのに、研究室に出入りしている者が本当の学会員だというような顔をしている。学会の仕事をしらない人は悪いのか？。研究室内に入る人が同じ
- a パソコンをもっと増やしてほしい
- a 実験器具などの器材を充実させてほしい
- b 広い研究室を確保してほしい
- a 衛星TVを置いてほしい
- a 専門科目の幅を増やしてほしい
- a 教授の上下関係による差別がありそうな気がする
- b 女性を増やせば明るい地理学教室になるであろう
- a パソコンをもっと買ってほしい
- b 設備面を良くしてほしい（エアコンなど）
- c パソコンに電話をつなげてほしい
- a コンピュータが少ないので増やしてほしい
- a パソコンの増設（使う人が増えてきたため）、またそれに見合う広い部屋の確保
- a 各教授、個別の研究室の設置
- a 教室全体を拡大してほしい
- b 器材類を増やしてほしい
- c 教室を広くしてほしい
- a 地理学科全体が参加するようなものを作ってほしい
- a なんとなく閉鎖的なところがある
- a 卒論指導時以外には中に入らないと思うので、もうちょっとだれでの気楽に入れるようにしてほしい
- b 資料が少ない

- c もっときれいに
- a コンピュータをもっと増やしてほしい
- a 選択科目の増加
- b 必修科目は1, 2年のみにしてほしい
- c 広い作業部屋
- a もう少し手軽に文献を読めたらいいと思う
- b 定期購読の雑誌を増やしてほしい
- a 入りやすい雰囲気だといいなあ
- b パソコンとか資料も、気軽に触れることができるといいなあ
- a 鶴川での学会活動の活発化、それに伴う卒論の意識の強化をはかってほしい
- b 気候関係の雑誌の種類・量をふやしてほしい
- a もっと広くしてほしい
- b 近代的な設備を導入してほしい



3. 文学部（又は、大学全般）について要望があったら書いてください（例えば、文学部事務就職指導・設備に対する要望など）。

- a 丸山主事は最高です！
- a 主事制度は、最小限は残すべきだ
- b 出席など問題は、大学で議論すべきことか。何のために大学に来るのか、何のために大学が必要なのか、考えるべきだ。どこの大学でも多少は出欠席の確認はしているはず（うちだけではない）
- c 大学設備等は、郊外の神殿のような大学に比べて、スコラ的でよい。狭いところに、多数の学生がひしめき合うところ。
 - a ゼミ室がほしい
 - b 食堂をもっと広くきれいに
 - c 生協がほしい
 - a 冷房設備がほしい
 - a エアコンの完備、教室のイス（座りにくく疲れる）を良いものにしてほしい
 - a 学食をもっと広くした方がよい
 - b 学校の前の道路が狭くて危険である
 - a 丸山先生には本当にお世話になりました。
 - b 就職指導は甘い！！ センターの職員は「おれが就職するんじゃないや」といった態度で腹がたつ
 - c 設備について、特に教室の改善を望みたい（机、イス；本当に硬い）
 - a 授業時間のとりかたについてももう少し考えた方がよいのでは
 - b 巡検以外にも研修をもうけたほうがよい
 - a このままで良いのではないか
 - a 就職指導はまったく意味がなく、リクルートなどのおかげで就職できたような気がする
 - a 入学手引の資格修得について、いくつでも修得できるように書かれている。しかし、実際には測量自習が受けられたのは12名で、他の者は授業を取っていない。このような状況は、学生にすれば詐欺にあつたも同様である。この状況をなくしてほしい。
 - a 卒業記念品がみつともない「誠意・見識・気魂」など、軍事教練じみた言葉が書いてある記念品をみて、大学当局の軽薄さを感じる。みつともなく、はずかしく机の上に置けない。（卒業式当日、学生が直接教室スタッフに渡したメモから抜粋）
 - a 学生食堂を改善してほしい
 - b 史学地理学科の主事の人数の増加を望む
 - a 就職ガイダンスの回数をもっと増やしてほしい
 - b 机が悪すぎた4年間であつたのでなんとかしてほしい
 - a 食堂を改善すべきだ

- a 就職指導が半分も役立っておらず、むしろ自分で動いた方がためになるし、就職も良いところへ決まりそうな気がする
- a 威張る職員がいるので止めてほしい
- b 教室の設備が悪い
- a 図書館を別棟にしてほしい（豊富な蔵書量にたえるだけのスペースの確保、広い閲覧室など）
- c 地理学教室の“物理的”拡張
- a 云いたいことは山ほどあるが「自分で何も行動していないのにあれこれ批判するのはおかしい」と云われればそれまでなのでここでは書かない。
- a 教室が貧弱すぎる
- b 設備が少ない
- a 事務連絡をもっと迅速に
- a 丸山主事は最高だ！
- a 21世紀に勝ち残れる大学になってください
- a あまり適切でなかった
- c 設備を充実させてほしい
- a 主事がうるさすぎる
- b 出席がきびしすぎると思う（他大学と比べて）
- a 夏は暑い！！ 入試で学校が備っているのだから冷房をつけてもいいだろう！！
- b 丸山先生は私の第二のお父さんです。一関の夜は忘れません。おひつを抱えて飯を食わないように
- a 文学部独自の校舎の建設、机、椅子、電気などの設備改善
- a 食堂は、よっぽどお腹がへついているとき、お金がない時以外は利用しませんでした
- b 自動二輪の駐車場の利用許可がほしかった
- a すべての門を常時開放する
- a 万事今のままで良いと思います
- a 生協を作ってほしい
- a 学食は清潔感があるといいのになあ～
- a 全施設の改善

★ ☆

★ ☆

★ ☆

★ ☆

研究室購入図書リスト (1989年度)

A: 朝倉書店

k SASによる回帰分析の実践 (新村)

H: 平凡社

k 日本の野生植物 (フィールド版)

日本の野生植物 (木本) 2巻

H: 北海道大学図書刊行会

k 寒冷地の自然環境

K: 紀伊国屋書店

地理・人文地理・紀行に関する

10年間の雑誌文献目録

k 昭和23～49年

k 昭和50～59年

K: 国勢社

k 日本国勢図会 (今年度版)

世界国勢図会 (今年度版)

K: 古今書院

T: 築地書館

k 土壌地理学特論

土壌地理学序説

k 埼玉の自然をたずねて

k 東京の地質をめぐって

k 群馬の地質をめぐって

T: 東京大学出版会

k 写真と図でみる地形学

k 海岸環境工学

k 湿潤変動帯の地形学

k 沖積平野

k 日本の火山地形

T: 東洋経済新報社

k 新版SPSS X I 基礎編

k SPSS統計パッケージ II 解析編

経済地理学の成果と課題

k 日本の扇状地
 k 現代中国地誌
 k 百年千年万年後の日本の自然と人類
 k 地形地理学
 k 日本の山地地形
 K: 共立出版
 k コンピュータマップ I
 k コンピュータマップ II
 k 応用画像解析
 k 日本の地質 関東地方
 k 中部地方 I
 k 中部地方 II
 M: 丸善
 k 川の博物誌
 k SASによるデータ解析: 基礎編
 N: 日本地図センター
 k 全国20万分の1地図 (全国版)
 N: 日本気象協会
 k 地上気象観測法 1988
 k 天気図集成 1981-85
 N: 日本農業気象学会
 * 農業気象用語解説集
 N: 二宮書店
 k 地理学辞典
 T: 大明堂
 k 地理学文献目録第8集

K: 啓学出版
 k パソコンによるリモートセンシングデータ解析
 K: 家族計画国際協力財団
 k 人口事典
 K: 鹿島出版会
 k 地すべり・崩壊・土石流
 k 目でみる山地防災のための
 微地形判読
 k 富士山: 地質と変貌
 K: コロナ社
 地学のガイドシリーズ
 k 地学の調べ方
 k 千葉県地学のガイド
 k 続千葉県地学のガイド
 k 神奈川県地学のガイド
 k 神奈川県自然の歴史
 k 埼玉県地学のガイド
 k 東京都地学のガイド
 K: 古今書院
 k 地理学を学ぶ (正井他)
 k 大縮尺図で見る平野 (籠瀬)

地理学評論総索引 (51~60巻)
 気象年鑑 (1988)
 日本地理学会予稿集 (34,35)
 うごくアトラス
 雑誌「自然保護」 (団体会員)
 雑誌「地理」 (1990年)
 A: 朝倉書店
 k 地震と活断層の科学
 G: 学研
 k 日本の植生
 G: 技報堂
 k 新しい眼でみる琵琶湖
 G: きょうせい
 k 建設環境アセスメント必携
 (昭和62年版)
 k 公共事業の紛争アセスメント
 講演集 (I)
 H: 原書房
 k 地理学関係文献目録総覧1880-1982
 : 自然・人文・社会 (奥野)
 H: 北大図書刊行会
 k 有珠山: その変動と災害
 H: 博友社
 k 環境科学実験法
 I: 岩波書店
 日本の火成岩

S: 新星図書出版
 k 琉球列島の地形
 T: 大明堂
 k 地図表現入門 (浮田他)
 k* 水文学 (極根)
 T: 東海大学出版会
 k 造礁サンゴ (フィールド図鑑)
 k 浅海地質学 (星野)
 T: 東京大学出版会
 k 中国の自然地理 1986
 k 一般地質学 (ホーバース) 全3巻
 T: 東京美術
 k 地層の知識 (第四紀をさぐる)
 k 先史時代の自然環境
 H: 平凡社
 k イスラム辞典
 k アフリカを知る辞典
 k アメリカを知る辞典
 k ラテンアメリカを知る辞典
 k 朝鮮を知る辞典
 k 東南アジアを知る辞典

- k* 水文学の基礎 (市川) 1973
 * 測量: 古代から現代まで (武田) 1979 (測量)
 k* 周水河環境 (フレンチ) 1984
 k* 図説環境地理 (福岡) 1981
 K: 講談社
 k 日本の自然公園
 K: 共立出版
 k 自然保護を考える (信州大学教養部 自然保護講座編)
 k 植生調査法II: 植物社会学的研究法
 k 続自然保護を考える
 都市環境学シリーズ
 k 2. 都市の水文環境 (新井他)
 k 3. 都市の人間環境 (品田他)

- K: 古今書院
 k 気候地域論考 (矢沢)
 SPSSX User's Guide. Chicago: SPSS Inc.
 SAS User's Guide: Basics. Cary, NC SAS Institute Inc.
 SAS/Graph User's Guide. Cary, NC SAS Institute Inc.

- N: 日本都市センター
 k 景観行政のすすめ
 N: 日本経済新聞社
 コンピュータマッピング入門
 N: ニューサイエンス社
 地層の調べ方
 k 14C年代測定法

(K: 研究室購入図書 * : 図書館にもあり)

研究室購入備品リスト (1989年度)

比重計用シリンダー (1リットル)
 テーラクター・ストッカー (宮崎マイコン)
 デジタル温度計 (安立HL260)
 回転地図掛け
 反射式双眼実体鏡 (ピーク)
 簡易実体鏡 (ピーク)
 デジタル式プランメーター (牛方)
 テンプレート (円)
 コンパス
 無反射ガラス板

パソコン (NECPC9801VM11)
 CRTディスプレイ (PC-KD855)
 ハードディスク (アイテック, ITH-520N)
 ハードディスク (ロジテック, LHD-34V)
 マウス (NECPC-9872L)
 トラックボール (丸) HTB-60
 ハンディスキャナー (エプソンGT-100V)
 プリンター切り替え器 (ロジテック)
 ランドサット画像解析装置 (オキタ電子)
 35mm接写レンズ SP90mm F2.5
 パソコンソフト (GDAS, QCAS)

今年度は、パソコン一式、ひまわり直接受信システム (含HD付パソコン一式・11万色カラーハードコピー)、パソコン用フィルムレコーダ、分光反射計、30チャンネル積算記録計、測量機器 (12セット) その他を購入する予定で一部は既に購入済みです。

初めて訪れる方が眺めがいいですねと、いって下さいます。研究室で良いのは眺めだけで、それも勤めて3年目ともなると感じなくなりました。眺めが良いということは、外から◎見えということです。ですし。

